



# ミス日本ニュース

Miss Japan News 20年6月1日  
2020年5月分 (一社)ミス日本協会



Japan.  
Committed  
to SDGs



(左) 山形新聞の若者向け特集版「キミへ」創刊号と、(右) 山形県内の読売新聞折り込み「ヨミウリウェイ」のそれぞれに、山形県出身在住のミス日本「海の日」森谷美雲が、なんと両方とも見開き両面でインタビュー紹介。森谷は「山形に住んでいるからこそ学べる、感じ取れる強みがある」ということを県下で夢を目指す若者にメッセージ。都会に注目を向けがちな昨今、自分らしさを見つめることの大事さと体験を誌面いっぱいで紹介しました。



「いのち」のはじまりに向き合う  
SDGsから考える  
女性のからだと生き方トーク

6/18 (木) 19:00-21:30 @オンライン

5月18日(木) 19:00-21:30

Birth Educator

## オンラインSDGs講座、毎月開催中です！

ミス日本協会とACTSDGsとの連携勉強会企画、SDGsを学ぶ第2回は6月18日木曜日にオンライン開催です。講師には公益社団法人誕生学協会代表理事でご自身も5人のお子さんを育てられてきた大葉ナナコさまをお迎えして「SDGsから考える女性のからだと生き方トーク」です。女性の社会参加が促進すると気候変動や紛争解決に大きな役割を果たすとされています。働きながら産み育てやすい社会とはどんなものか。女性以外の方の参加も大歓迎です。ぜひご参加くださいませ！



【詳細や申し込みは「Peatix」 QRコードからアクセス!】

## 女神インスタはじめました！

歴代みどりの女神有志が協力して「女神インスタ」を立ち上げ、木のある暮らしや緑を感じる瞬間を共有したり、新緑を楽しむ時間を共有しています。特に5月末からは森産業さまの協力を得て、STAYHOMEのいまに話題を集める「シイタケの自宅栽培」に挑戦中！※栽培の様子は個人インスタにて。インスタグラムから「ミス日本」で検索してみてください！左上のアイコンが目印。

## ★5月の活動★

- 10日 ヨミウリウェイ 見開き2p特集/森谷
- 21日 山形新聞「キミへ」創刊号見開き2p特集/森谷
- 27日 日本下水道新聞「ミス日本の軌跡を辿るvol.1」掲載
- 12日 ACT SDGs × ミス日本 オンライン講座開催
- 28日 とうきょう林業サポート隊ポスター撮影 / 井戸川



28日 東京都農林水産振興財団のポスター撮影に臨む井戸川。メイク協力はIBF国際美容連盟さま！実際に山に入り、下草刈りや枝払いに挑戦している様子を撮影していきます。



日本下水道新聞にてミス日本コンテストが辿った50年の変化を追う連載を始めました！

# OGの履歴書 第22回

## 岡田亜沙美さん



2008年度ミス日本ネイチャー  
熊本県熊本市出身 熊本大学教育学部在学中に受賞。  
卒業後、NHK熊本放送局に就職。  
総合テレビ熊本6時台のニュース番組「クマロク」に、  
キャスターとして4年半出演。在職中に結婚し、  
第1子の妊娠出産を機に退職。昨年、第2子を出産。  
2児の子育てをしながら、宅地建物取引士の試験に合格。  
現在は地元で愛される不動産屋さんを目指し起業準備中。

### ミス日本に応募したきっかけを教えてください

母の勧めでミス日本に応募しました。当時、私は、大学入試の結果が自分の思ったようにならず、自信を失っていました。母がミス日本コンテストを勧めたのも、私に自信をつけさせたいという親心だったようです。コンテスト後は、ミス日本ネイチャーとして様々な活動に参加させていただきました。特に印象深かったのは、北海道で開催された洞爺湖サミットの関連イベントに参加させていただいたことです。熊本出身の私にとって、初めて赴いた北海道の地で、地元の方々と触れ合いながら、イベントを盛り上げることができたという経験も、自分の自信につながったように感じます。



### 任期後はどうされましたか？

大学卒業後、地元のNHK熊本放送局にキャスターとして就職しました。仕事でも、ミス日本で学んだことが大いに生きました。「テレビカメラの前で話すということは、カメラの先にいる多くの人に話すこと。」入社後間もないころ、上司より教わった言葉でしたが、不思議と私にとっては馴染みやすいものでした。ミス日本の活動の中で、多くの方々前で話す機会が何度もありましたので、そうした大勢に注目される場での姿勢や度胸は、自然と培われていたのだと思います。また、地方へ取材に出かけることも多く、地元の方々が頑張っている姿を、視聴者の皆様に伝える仕事には、大変やりがいを感じました。



### そのあとは、どうされましたか？

妊娠を機に職場を退社し、去年、2人目を出産しました。産後、自らのキャリアについて考えていた時期に、父が「宅地建物取引士の資格の勉強ををはじめようかな?」と家族に相談してきました。父は1級建築士の資格を持っています、スキルアップのために、宅建士の資格も取得したいとのことでした。以前から宅建士や不動産業について興味があった私も、一緒に勉強を始めることにしました。育児をしながらの勉強は思ったよりも大変で、子供のお昼寝の時間を利用したり、子供が寝静まった夜に勉強したりと、すき間時間を活用しました。また、夫や母に子供の面倒を見てもらうこともしばしばでした。家族のサポートに加え、同時に受験した父と切磋琢磨しながら勉強したこともあり、結果は、2人とも合格！ととてもうれしかったです。家族一丸となつてつかみ取った合格でした。



### 将来の抱負を教えてください

今後は、父と協力して不動産屋を開こうと思っています。前職では、地元の方々の頑張っている姿を取材する中で、自分自身も元気をもらいました。まだまだ構想の段階ではありますが、今後は、地元の方々を元気づけられるような、皆様から愛される不動産屋さんになりたいと思っています。